

あなたも『家政婦(夫)』として “家事サービス”の仕事をしてませんか？

高齢化や女性の社会参加が進み、社会に貢献しながら生き生きと働くことのできる家政婦（夫）に、改めて注目が集まっています。

家政婦（夫）は、「家政婦紹介所」から紹介を受け、求人者であるお客様のために、家庭内での日常の「家事」を代行・サポートする仕事です。

家政婦（夫）の役割とは →→ 3 ページへ

掃除や洗濯、調理、買い物など日々の用事から、家計、家族の健康管理、住居や庭・花壇の手入れ、親戚や近所との付き合い、引っ越し、冠婚葬祭などまで、私たちの日常生活にはさまざまな「家事」があります。要介護の世帯やお年寄りの一人暮らしの世帯、また共働き世帯などの多くの世帯で、家政婦（夫）の家事サービスを活用いただいています。

家政婦（夫）になるには →→ 2 ページへ

家政婦（夫）になるためには、まず「家政婦紹介所」に「求職登録」をする必要があります。求職登録の際は、希望する労働条件等を紹介所へお伝えください。その後、紹介所から求職登録時の条件に見合うお仕事が紹介されます。

※「家政婦紹介所」は、厚生労働大臣の許可を受けて職業紹介を行う事業者です。

雇用形態や賃金は →→ 3 ページへ

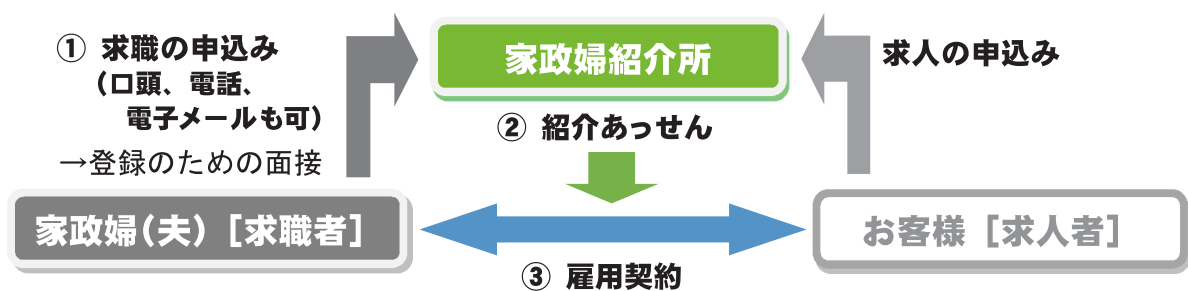
紹介所の紹介により、家政婦（夫）と求人者であるお客様が労働条件に合意すると、家政婦（夫）とお客様との間で雇用契約が成立します。

家政婦（夫）の賃金額等は、お客様との間で取り交わす「労働条件」に含まれるもので、仕事の内容や働く地域、求人者の事情等により異なります。

家政婦（夫）として働くことのメリットは →→ 3・4 ページへ

家政婦（夫）には、自分の生活の都合に合わせて、年齢に関わりなく働けるというメリットがあります。短時間で家庭生活と両立しながら働きたい、生活できる賃金がほしいので長い時間働きたい、いくつになってもまだまだ働きたいなど、さまざまなご希望に応じた働き方が可能になります。

家政婦紹介所の職業紹介業務の流れ



① 求職申込み

家政婦（夫）の仕事を探している方は、家政婦紹介所に求職申込みを行う必要があります。原則として、申込みは求職登録票や求職申込書等により行われますが、口頭、電話、電子メールなどでも差し支えありません。その後、紹介所は登録のための面接を行いますので、希望条件をお話してください。紹介所からは、職業紹介の進め方を説明し、個人情報の取扱いについて求職者の同意をいただきます。

② 紹介あっせん

家政婦紹介所では、家政婦（夫）の仕事を希望する求職者に求人の内容を説明し、応募の意思を伺います。求職者が応募を希望する場合は、紹介状を発行します。この際に、併せて労働条件通知書をお渡しします。家政婦紹介所による紹介の場合、求職者と求人者の事前の面談はありませんので、家政婦（夫）が直接、求人者（お客様）の住まいや指定する場所に行くことになります。

③ 雇用契約

家政婦（夫）が求人者のもとへ行き、紹介状や労働条件通知書を確認してもらいます。求人者の了解を得ると、その時点で雇用契約が成立します。

④ 手数料

家政婦紹介所は、職業紹介のサービスに対する対価として、求人者から手数料を受領します。また、家政婦（夫）の求職者から求職受付手数料を受領することもあります。

家政婦(夫)として安心して働くために

家政婦(夫)の知識、技術を保証する「家政士」検定制度があります

家政婦（夫）として働くに当たり、料理や掃除・洗濯を上手にこなせる自信があるが、それをきちんと証明できるものはないかと思いませんか。そのような方を支援する制度として、公益社団法人日本看護家政紹介事業協会が実施している「家政士」の検定制度があります。

家政士は、衣食住に関わる家事サービスを中心に、介護や子育て支援など、家族に寄り添って生活全体をサポートし、また、コミュニケーション力やホスピタリティに優れた「家族のパートナー」として、オールラウンドの生活支援を行います。

この資格は、厚生労働大臣認定の公的資格ですので、取得することによって家事サービスの知識・技能が認められた証明となり、自信と誇りをもって働くことができます。

家政婦（夫）に関するアンケート結果など

1. 家事サービスの主な仕事内容は？

公益社団法人日本看護家政紹介事業協会が行った「家事サービス求職者アンケート調査」から、家政婦（夫）さんの主な仕事の種類を抜き出してみました（複数回答）。

仕事内容としては、「掃除・片付け」、「洗濯」、「料理」に「買い物等外への用足し」を組み合わせるパターンが多いようです。また、高齢者のお世話も重要な仕事であることがわかります。

- | | | |
|--------------|---------|----------------------------|
| ① 掃除・片付け | (86.7%) | |
| ② 洗濯 | (66.5%) | |
| ③ 料理 | (61.6%) | |
| ④ 買い物等外への用足し | (49.4%) | |
| ⑤ 高齢者のお世話 | (47.8%) | |
| | | (病院等の外出・散歩の付き添い、身の回りの世話など) |
| ⑥ ペットの世話 | (8.1%) | |
| ⑦ 育児 | (2.5%) | |
| | | (保育園等への送迎、食事・お風呂の世話など) |
| | | など |



2. 家政婦（夫）の賃金はどのくらい？

家政婦（夫）として働くとどのくらいの賃金がもらえるのでしょうか。

賃金は、雇用契約に基づいて決まりますので、お仕事の内容や働く地域、求人者の事情等により異なります。参考までに、東京地域における家事サービスの時間単価（賃金に相当する部分）の平均値（東京都内の19の家政婦紹介所のホームページに掲載された、利用料金の平均値）を例示します。

・ 1時間 1,806円 ・ 3時間 4,908円 ・ 8時間 11,147円

3. 家事サービスであなたのライフスタイルに合った働き方がみつかります！

家政婦（夫）は、自分の生活に合わせて柔軟に働けるというメリットがあります。長い時間で働いたり、短時間勤務を組み合わせたり、勤務日数にも長短がありますので、さまざまな形で働くことが可能となります（家事サービスアンケート調査）。

家事サービスの1日の勤務時間

3	時間未満	18.0%
3～4	時間未満	20.3%
4～6	時間未満	18.9%
6～8	時間未満	12.1%
8～10	時間未満	14.0%
10～15	時間未満	6.1%
15～24	時間未満	7.2%

家事サービスの1か月の勤務日数

1～5	日未満	8.9%
5～10	日未満	17.5%
10～15	日未満	23.3%
15～20	日未満	17.5%
20～25	日未満	20.0%
25	日以上	7.2%

家政婦（夫）として働くことのメリット

「家政婦（夫）として働くことを希望した理由」を、実際に家事サービスで働いている家政婦（夫）さんにお聞きしました（家事サービス求職者アンケート調査・複数回答）。

- ① 年齢に関わらず働けるから (71.9%)
- ② 働く期間・時間を自分で選べるから (55.2%)
- ③ 仕事と私生活の両立がしやすいから (47.7%)
- ④ 人の役に立つ仕事だから (43.4%)
- ⑤ これまでの就業経験や家事・介護・育児の経験を活かせるから (40.8%)

家政婦（夫）には、自分の生活の都合に合わせて、年齢に関わりなく働けるというメリットがあるようです。

実際に働いている家政婦（夫）さんの年齢構成をみても、全体の4分の3は60歳以上ですし、70歳以上の方も27%いらっしゃいます。

せっかくとった介護の資格を活用したい

主婦（夫）としての料理や育児・親の介護の経験を活かしたい

子育ての合間に1日2～3時間だけ働きたい

人に喜んでもらえる仕事をしたい

いくつになってもまだまだ元気に働きたい

生活できる収入を得るため、長い時間働きたい

家政婦（夫）さんとして働きませんか！

お問い合わせ先

ご不明点やご質問などがございましたら、
「公益社団法人 日本看護家政紹介事業協会」にお問い合わせください

〒162-0064 東京都新宿区市谷仲之町 3-2

TEL. 03-3353-4641 / FAX. 03-3353-4326

URL <http://www.kanka.or.jp>